

**認知症看護における看護師の医療安全にかかわる
リスクテイキング行動評価尺度の開発**
-認知症看護における看護師のリスクイメージに関する研究-

清水健史¹⁾、手塚祐美子¹⁾、村上真須美¹⁾

1) 青森県立保健大学

Key Words ①認知症看護②医療安全③リスクイメージ

I. はじめに (または「緒言」等)

現代の高齢社会においては、社会医療費の増大・介護負担といった社会が担うべき課題とともに、疾病構造の変化、特に認知症患者が増加している背景がある。そして、認知症患者の呈するさまざまな症状に対して安全に治療・看護することの難しさが明らかになってきている(宮崎, 2007)。認知症患者への治療・看護の難しさの要因と考えられているのは、認知症の中核症状に加え、BPSD (behavioral and psychological symptoms of dementia) と呼ばれている一連の症候群への対応である(新田ら, 2008; 矢山ら, 2011; 林谷ら, 2014)。例えば、徘徊は転倒・転落につながることから安全管理が難しい症状の一つと考えられており、今後ますます重要な課題となってくると考えられている(今川, 2006)。

これまで医療安全は、いわゆる一般科を中心に検討されてきており、認知症看護の領域ではほとんど行われてこなかった。そこで、認知症看護において看護師が医療安全をどのように考え、どのように安全管理すべきなのか検討する必要性が生じていると考えるのである。

II. 目的

認知症看護における医療安全評価尺度作成のために、認知症看護に携わっている看護師の医療安全にかかわるリスクイメージを明らかにすることである。

III. 研究方法 (または「研究の経過」等)

1. 調査対象: 現在、首都圏内および青森県内の精神科病院に勤務し、認知症患者の看護経験を有する看護師 8 名。

1) 分析方法: PAC (Personal Attitude Construct: 個人別態度構造) 分析の手順に従い分析する。

2) すべての対象者から得られたデータ(コード)を、質的に分析して(カテゴリー・サブカテゴリー)認知症看護における看護師のリスクイメージの構造を明らかにする。

IV. 結果・考察

1) 研究に参加した看護師は、北東北の精神科病院に勤務する看護師と首都圏の精神科病院に勤務する看護師あわせて 8 名であった。

2) PAC 分析によって得られた、命名されたクラスターを集めて、質的に分析した。その結果、以下の3つのカテゴリーに統合された。(【】:カテゴリー、「」:サブカテゴリー)

(1) 【リスクの早期発見とすみやかな介入】

「援助者の介入」、「リスク状況の観察」の2つのサブカテゴリーから構成されていた。

(2) 【リスクを捉える際に求められる視点】

「援助者の考えを見直す必要」、「リスクへの基本的対応」の2つのサブカテゴリーから構成されていた。

(3) 【リスクに向きあう心理的負担】

「援助者側の問題」、「リスクに直面した戸惑い」の2つのサブカテゴリーから構成されていた。

3) 討論

本研究の結果から、精神科看護師は、【リスクの早期発見とすみやかな介入】を心掛けていることが明らかになった。多くの看護師は、医療安全にかかわるトラブルに暴力を挙げており、暴力は早期に介入しなければ、さらに問題が大きくなることが予想されていることから、精神科看護師はすみやかに介入していることが明らかになった。

また、【リスクを捉える際に求められる視点】は、リスクの予期に必要な視点を持つことが、長期的なリスクの予防に必要であると考えていることがわかった。さらに、リスクにつながる環境や、認知症の症状など変化が少ないことがらを受け入れ、与えられた環境や状況の中で、何が出来るのかを考えていることがわかった。

さらに、精神科看護師の【リスクに向きあう心理的負担】が明らかになった。このことから、精神科看護師のメンタルヘルスを考慮し、サポート体制を整える必要があることが示唆された。

謝辞：本研究は、青森県立保健大学特別研究費の助成を受けて行いました。ここに記して感謝申し上げます。

VI. 文献

林谷啓美，田中諭：認知症高齢者の行動・心理症状（BPSD）に対する支援のあり方．園田女子大学論文集．48．105-112.

今川真治（2006）：グループホームにおける認知症高齢者の屋内徘徊行動の分析．広島大学大学院教育学研究科紀要第二部．55.359-366.

新田静江，上村奈美，望月紀子（2008）：グループホーム職員における認知症に伴う行動・心理症状（BPSD）への対応に関する基礎的知識と就業経験の関連．山梨大学看護学会誌．7（1）．27-32.

矢山壮，繁信和恵，山川みやえ他：入所施設の認知症の行動心理学的徴候（BPSD）で入院を依頼する要因の実態調査．老年精神医学雑誌．22（12）．1413-14124.

VII. 発表（誌上発表、学会発表）

なし。